

土地連「要求に差ある」 防衛省説明 軍用地料概算1.1%増で

# 土地連「要求に差ある」

防衛省説明 軍用地料概算1.1%増で

防衛省の真部朗地方協力局次長は5日、県軍用地等地主会連合会（土地連、浜比嘉勇会長）の理事会で2012年度予算概算要求の軍用地料を本年度比1.1%増と計上した件を説明した。真部次長は「概算要求が回答ではない。土地連の要求に柔軟に対応して交渉を進め、額を年末までに確定したい」と述べ、一川保夫防衛相が早期に来県する意向を持っていることを伝えた。

理事会では「土地連の要求と差がありすぎる」などの意見が相次いだ。真部次長は「（概算要求額が）回答ではない。年末までの交

渉により算定の考え方と額の両面から提示したい」と述べた。

浜比嘉会長は「概算要求はわれわれにとって評価できない数字。覚書で（地料算定基準の）見直しをする」とした項目が考慮されていない。一川大臣に早めに沖繩に来ていただいて、交渉をスタートさせたい」と述べた。

防衛省は次年度の借地料を約927億円として概算要求。一方、土地連は本年度末で軍用地の20年賃貸借契約が切れるのを機に、賃貸借料を、地目の見直しや基地周辺の開発による差損、基地負担の逸失利益などを盛り込んだ算定方法に変え、09年度比で1.96倍の1782億円とするよう求めている。